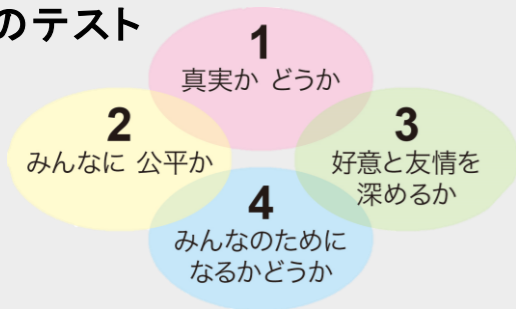




4つのテスト



ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



ロータリーソング



奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー ロータリー

日も風も星も

さわやかな朝だ われらはロータリアン
いつもほほえみ いつも元気で
さあ 出掛けよう
日も風も星も ラララ光るよ

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらがロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

我らの生業

我等の生業 さまざまなれど
集いて図る 心は一つ
求むるところは 平和親睦
力むるところは 向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

それでこそロータリー

どこで会っても やあとのおうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローロー ロータリー

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary;
R-O-T-A-R-Y is known on land and sea;
From North to South, from East to West;
One profits most who serves the best;
R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary.

限りなき道ロータリー

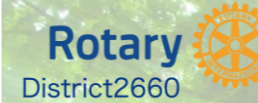
奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー



CLUB WEEKLY No.2789

国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

会長 城戸 総一郎



私たちの行動から希望が生まれる
活力あふれる楽しいクラブを築こう！



疾病予防と治療月間

例会日：2023年12月21日
(令和5年12月21日)

今日の例会

2023年12月21日

- 本日の卓話
「最近のロータリーの活動と私」
石田 肇 君
- 今日の歌「それでこそロータリー」
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会後 第5回地区大会準備委員会

来週の例会

- 12月28日(木) 振替休会(12/10)
- 1月4日(木) 年始休会
- 1月11日(木)
初例会と新年会 於:オ・セイリュウ
B2F ブラジリア
- 1月度定例理事会 PM:16:30~
- 初例会 PM:18:00~
- 新年会 PM:18:30~

会長の時間

城戸会長

2023年12月21日 本日今年最後の例会を迎えました。
上半期を無事終えた安堵感と下半期は次年度の準備が加わることで加速が求められ、気を引き締めて臨む所存です。先週年次総会が開催され、次年度の役員並びに理事メンバーが承認されました。年が明ければ早くもバンゾーンに突入し、今年度・次年度双方力走しなければなりません。「希望」を生むため楽しく行動しましょう！さて、12月は「疾病予防と治療月間」です。ロータリーの友12月号に特集「認知症を知り共に生きる地域づくり」の中で福井東RCが取り組んでおられる「オレンジハート運動」(認知症の人も、家族も安心できる地域づくり)の記事が目が留まりました。精神外科医のメンバーが「自分になりたくない病気、家族になってほしくない病気のトップが認知症です。」と、とある生命保険会社のアンケート結果を披露していた時期があり、母と義父が認知症になり、当事者の家族となったことで考え方が一変、アンケート結果を封印し認知症の人と共に安心して暮らせる地域が有れば、「なりたくない」「なってほしくない」という言葉は出ないはず、という強い思いが生まれた。と冒頭述べられ、認知症支援活動のシンボルカラーはオレンジであることから町の名所をオレンジ色で照らし、認知症への理解を訴えようと福井東RCで会員に諮り、2019年に地区補助金事業として実施されました。県や市、民間支援団体との連携を図り、ライトアップ事業のネーミングは、認知症の人と共に笑顔で暮らす社会を目指し、「オレンジハート運動」と名付けられ、その活動はクラブ内で認知症に関する卓話、認知症サポーター養成講座の開催(会員是認が受講)家族や会社の従業員にも波及し、県民への周知に繋がりました。今ではすっかり福井東RCの事業として定着し、安心が生まれ、「点」から「線」さらには「面」と広がりとつとめられてきています。私たちに「よろず相談室」や「生駒学園支援」事業があるように全国34地区2215クラブに様々な事業があり「ロータリーの友」ではその事業を紹介することにより、各地域のロータリアンに様々な情報を与えることに加え勇気と希望をもたらしてくれています。

最後に今年も10日余りとなりました。
メンバーの皆様には於かれましては時節柄くれぐれもご自愛頂き、良いお年をお迎え頂きますことを祈念申し上げ今年最後の「会長の時間」とさせていただきます。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 城戸 総一郎
幹事: 井戸田 精一
会報資料担当: 井上 家昌

創立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリュウ 例会: 毎週木曜日 12:30~
事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室
TEL: 072-985-0189 FAX: 072-985-0577 E-mail: higashiohrc@air.ocn.ne.jp

《これからの予定》

- [1] 本日、例会後、第5回地区大会準備委員会
生駒学園訪問 15:15セイリュウ玄関前集合
(城戸会長、新井会員、石田会員、河村会員、
横谷会員、佐藤議長、藤本幹事、田中(利)
会員出席)
- [2] 12/26(火)衛星クラブ例会19:00~
- [3] 12/28(木)振替休会(12/10)
- [4] 1/4(木)休会
- [5] 1/11(木)1月度定例理事会16:30~
初例会18:00~、新年会18:30~
於:オ・セイリュウ

《連絡事項》

- [1] 12/28(木)、1/4(木)は年末年始のため休会
です。
- [2] 初例会及び新年会は1/11(木)18:00よりオ
・セイリュウにて行います。多数のご参加よ
ろしくお願いいたします。尚、同日16:30より
1月度定例理事会をオ・セイリュウにて開催
いたしますので、理事の方はよろしくお願い
いたします。
- [3] 会員の動向
◎城戸 総一郎 会員(自宅住所・電話変更)
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐3丁目
5-18-1001号室
TEL&FAX 06-6773-3326
- [4] 事務局の業務を12/27(水)~1/4(木)まで
休ませていただきますので、よろしくお願い
いたします。

◆ 2024~2025年度理事・役員 ◆

役員	理事
会長 戸田 尊文	会長 戸田 尊文
直前会長 城戸総一郎	直前会長 城戸総一郎
会長IL外 一由 麻里	会長IL外 一由 麻里 (会員組織委員長)
副会長 古川 靖明	副会長 古川 靖明 (クラブ運営委員長)
幹事 山崎 直人	幹事 山崎 直人
会計 井戸田精一	会計 井戸田精一
SAA 山村 安德	SAA 山村 安德
	理事 新井繁太郎 (副幹事)
	理事 西村 智子 (職業奉仕委員長)
	理事 迫谷 聡太 (社会奉仕委員長)
	理事 中西 徹 (国際奉仕委員長)
	理事 田原さおり (青少年奉仕委員長)
	理事 井上 家昌 (無任所)

◎米山奨学委員会 河村委員長
この度、大橋会員にご協力いただきました。有難う
ございました。
引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

小田原中RCとの情報交換会

幹事 井戸田 精一

1日目の予定を終え、箱根仙石原プリンスホテルに着くと、勝俣会長がフロントで城戸会長を迎えてくれました。

情報股間会は懇親会前の1時間弱で主に双方の理事が参加しました。司会は小田原中RC職業奉仕委員長の瀬戸理事が中西理事からクラブの職業奉仕活動を伺うことから始まりました。瀬戸理事は東大阪東RCが運営している中長期委員会の活動に興味があり、戸田会長エレクトが携わったクラブビジョン策定までの状況を伺い、詳しい活動計画よりも、まずは、クラブビジョンを作ることクラブ活動でのテーマを決めてゆくが大切だと感じたことを話しました。

続いて、コロナでクラブ活動が自粛され、予算不足等で会計や予算計画には課題がないかとの話があり、東大阪東RCは、幹事が予算執行を確認しているが、予算計画は、会長エレクトが前年度に事業が円滑に進むように考え、準備しているのが実情であることを伝えました。また、会員増強の話では、藤本前会長が入会条件を柔軟に対応し、若い会員を増やしたいと語りました。城戸会長は友人紹介例会で7名を招待し、RCを知っていただく機会を増やし、会員増強の機会を大切にしていることを伝えました。

最後に、戸田エレクトが周年事業について、地区が違うことで、各地区での運営方法を知る機会でもあり、引き続き情報交換を続けることでさらに理解が深まることを期待して情報交換会を終えることができました。



「大阪御堂筋本町RC合併10周年を祝って」

幹事 井戸田 精一
台湾からの友好CLUB3組、来賓が15名が座り、盛大な記念式典でした。大阪市に中心で10年前に本町RCと御堂筋RCが一緒になりました。どちらのCLUBも奉仕活動が途切れることなく、続けてこられました。そして、10年間の会長全員に感謝状と記念品を渡されました。そして、ポリオで足が使えず、車椅子で活躍されている大阪車いすテニス協会会長には車いすを寄贈、養護施設園長には施設の家具を寄贈されました。大切な人をつなぐ奉仕活動に感銘を受けました。取り急ぎ、ご報告とさせていただきます。



心に残るロータリアンの言葉

「BY EACH ROTARIAN, BY EVERY ROTARIAN」

我々の手近にあるロータリー活動の一つのベースについて考えてみたいと思います。まずロータリー活動の原点は何か。皆さんから些か反対を受けるかも知れませんが、私が考えているのは、“BY EACH ROTARIAN, BY EVERY ROTARIAN”ということです。ともかく一人一人のロータリアンがすべてEACH TIME, EVERY TIME, 要するに或る瞬間瞬間において、そして24時間総ての時間において、職業人としては社会に対し、また他人に対して最善を尽くすのがロータリーの原点でなければならないと思います。最近ややもすれば、RIとしての活動、あるいは地区としての活動、そしてまたクラブとしての活動が恰もロータリー活動の如くにとられて、基本であるロータリー一人一人のあらゆる瞬間瞬間における、職業人として社会に対して、また他人に対して最善を尽くす、極めて地味なロータリー活動が、どうも表に出ていないと思います。そしてクラブでお金を集めて寄付をしたとか、地区で何をしたとか、私は決してその事自体反対するのでは無いのですが、やれ3Hでこうした、やれ世界社会奉仕でああした、という事だけがやたら表面に出されています。一人一人のロータリアンのあらゆる瞬間におけるロータリーのサービス活動に対するバランスがどんどん崩れて行っている様な気がします。これは一度考え直すべき時期に来ているのではないかと思います。

何故ロータリー・バッジをいつも着けるように言われるのかといえば、「私はロータリアンです。だからロータリーの目的に従って毎日24時間活動

しているのです。ということをも自分にも言い聞かせ、他人に対してもこれを示しているのです。だからエンブレムを何時も着けなさいと言われるのです。

堀場 雅夫 2650地区 PDG

(12/14)の出席者数:27名(0)内ZOOM1名

12/14 出席率:66.67%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:51名(免除10名)

	11/30	12/7	12/10
HC出席	29(2)名	28(1)名	32(2)名
MU出席	1(0)名	2(0)名	0(0)名
修正出席率	69.77%	71.43%	74.42%